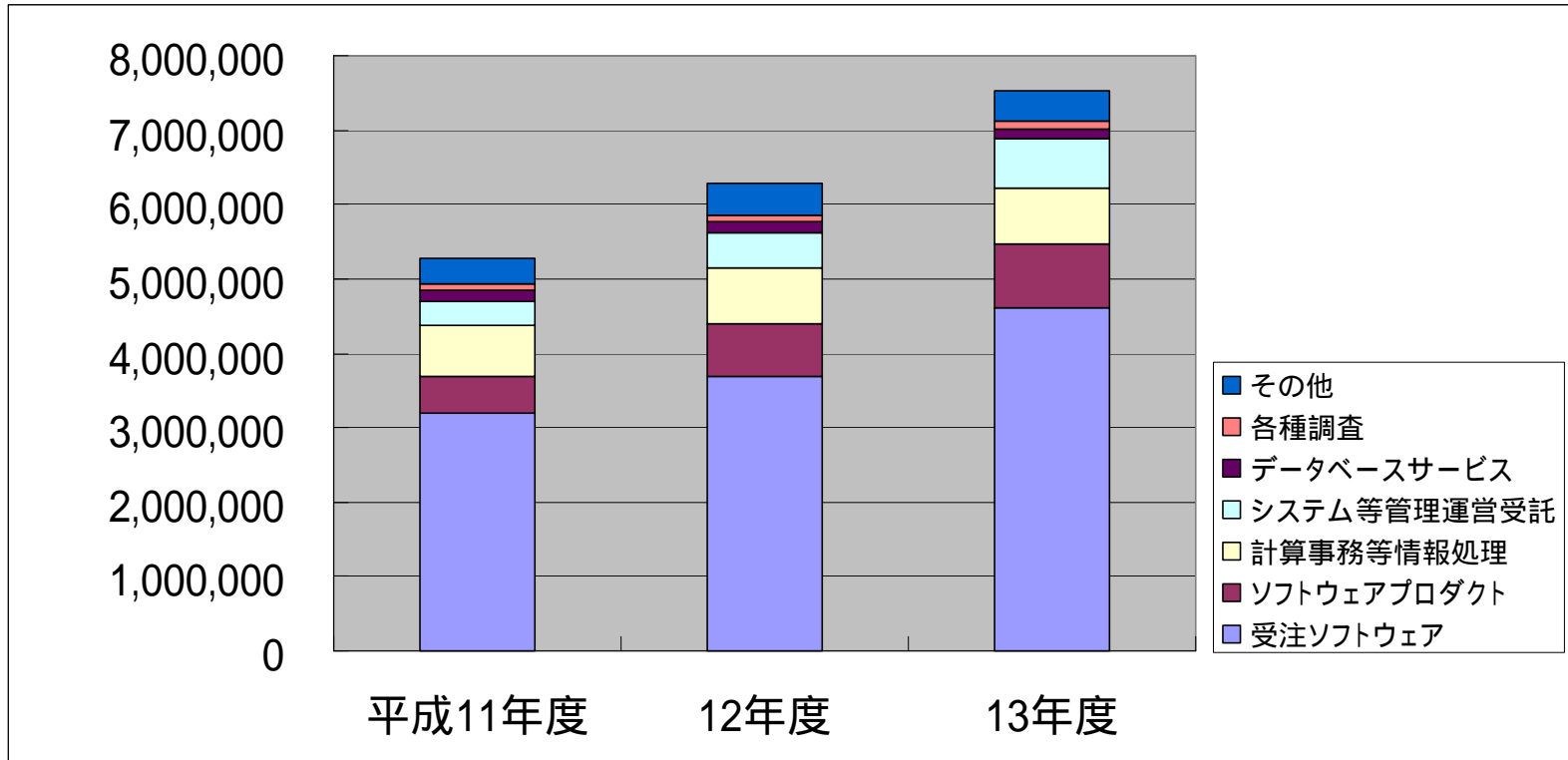


日本のソフトウェア産業の変遷

1.日本のソフトウェア産業の特徴

経済産業省 平成13年特定サービス産業実態調査
情報サービス業の業務種類別売上高

(単位百万円)



(1) 受託 (受注) ソフトウェアが中心。

- ・ オーダーメイド開発を好む傾向。
- ・ 細かな点へのこだわり。

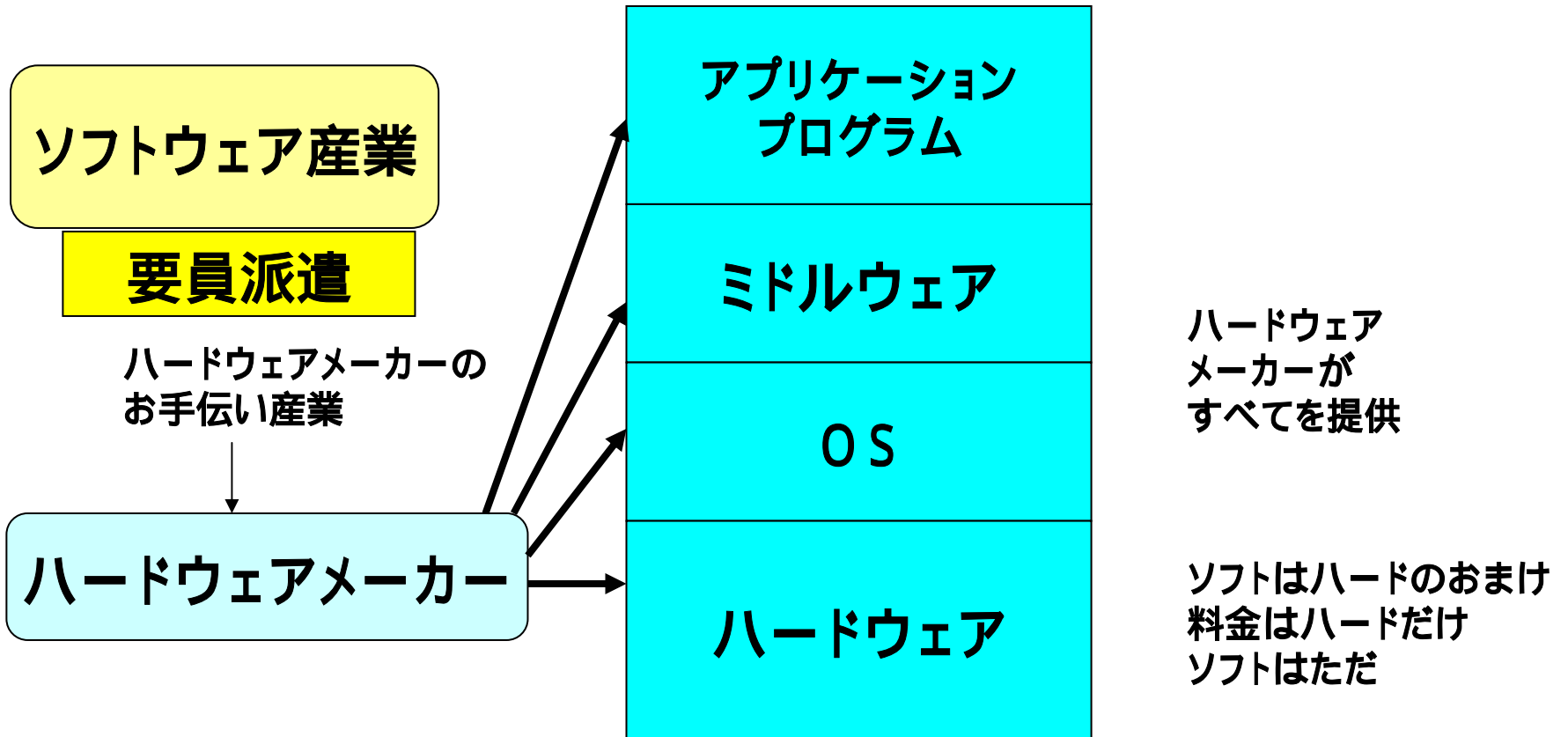
(2) ソフトウェアプロダクトの売上が少ない。

- ・ 海外に輸出している主なソフトウェアプロダクトはゲーム。

(3) アウトソーシング・データサービスも少ない。

2.年代別日本のソフトウェア産業の変遷

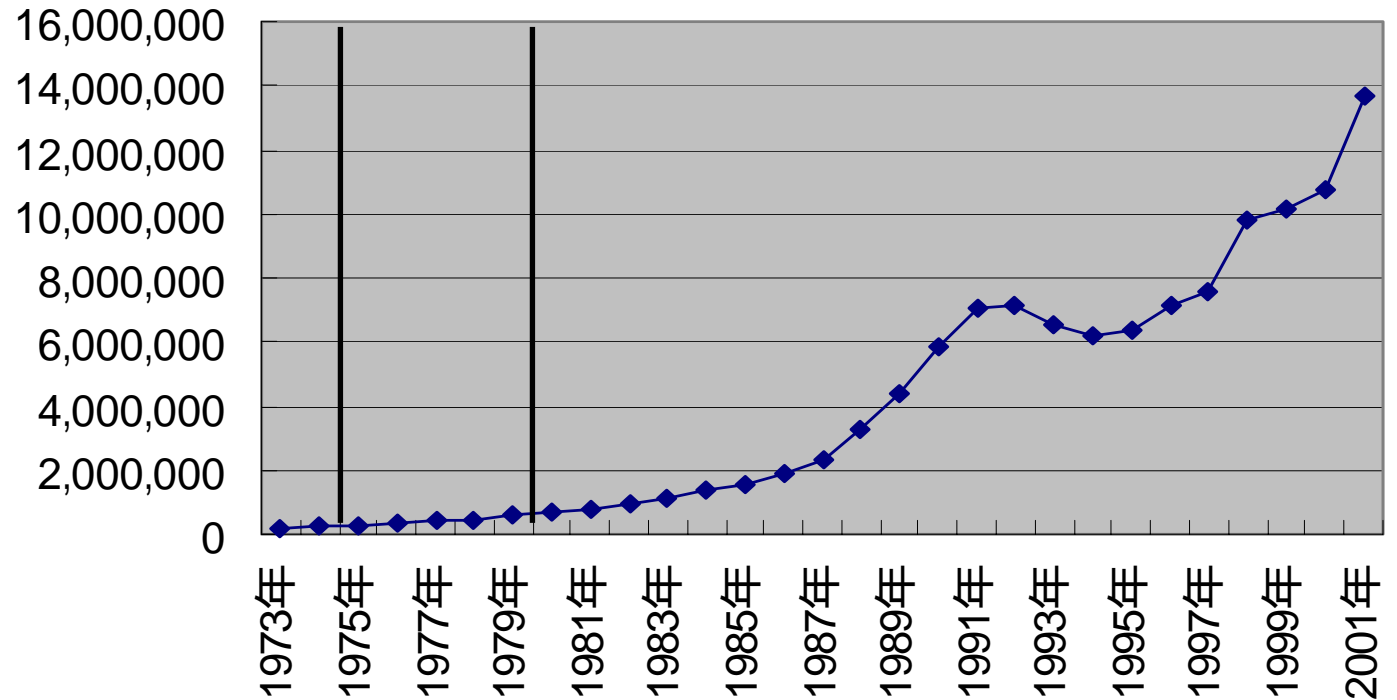
2-1.1970年代後半(汎用機バンドル時代)



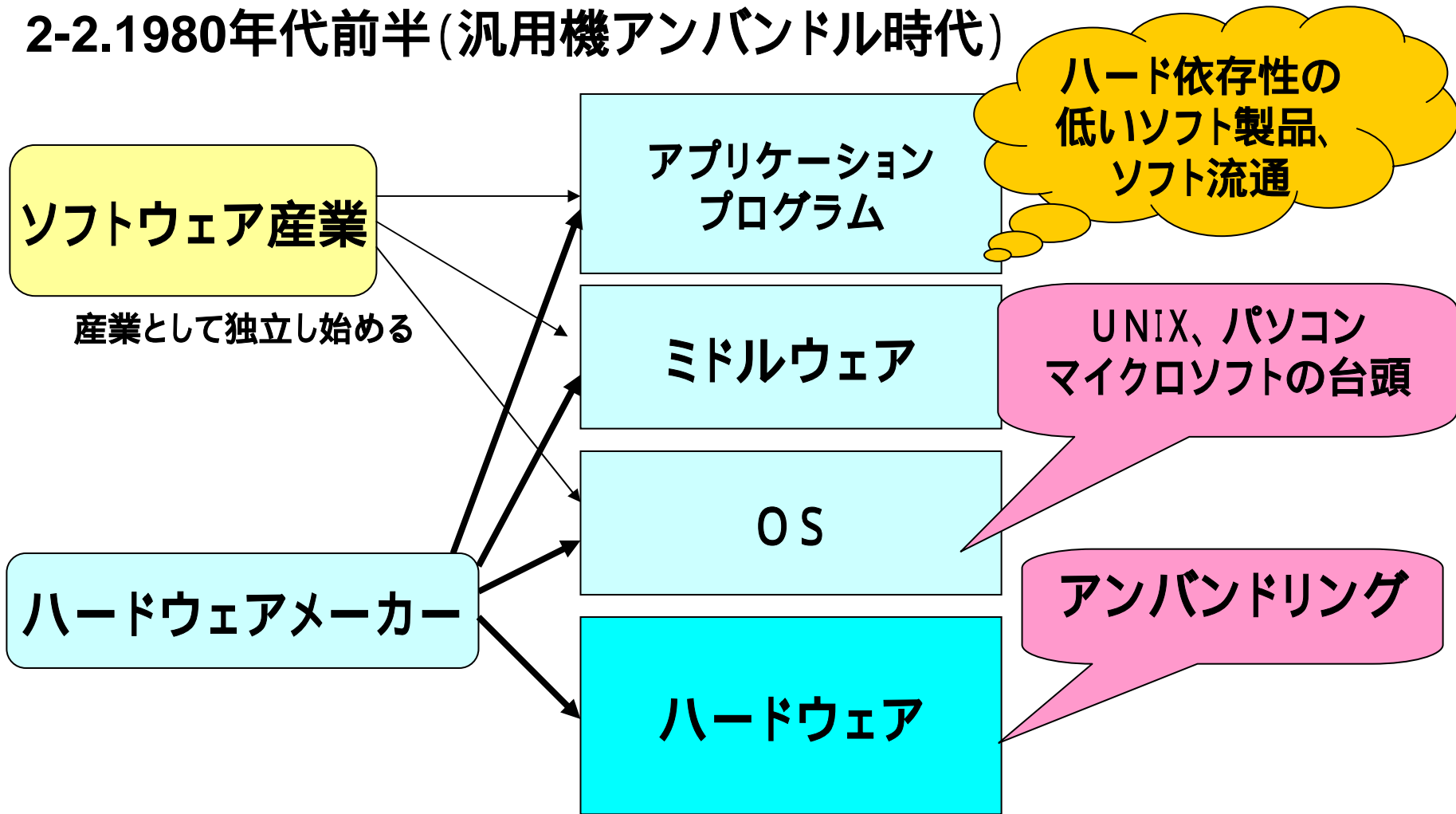
年間売上高
単位：百万円

情報サービス業

(経済産業省：平成13年特定サービス産業実態調査)



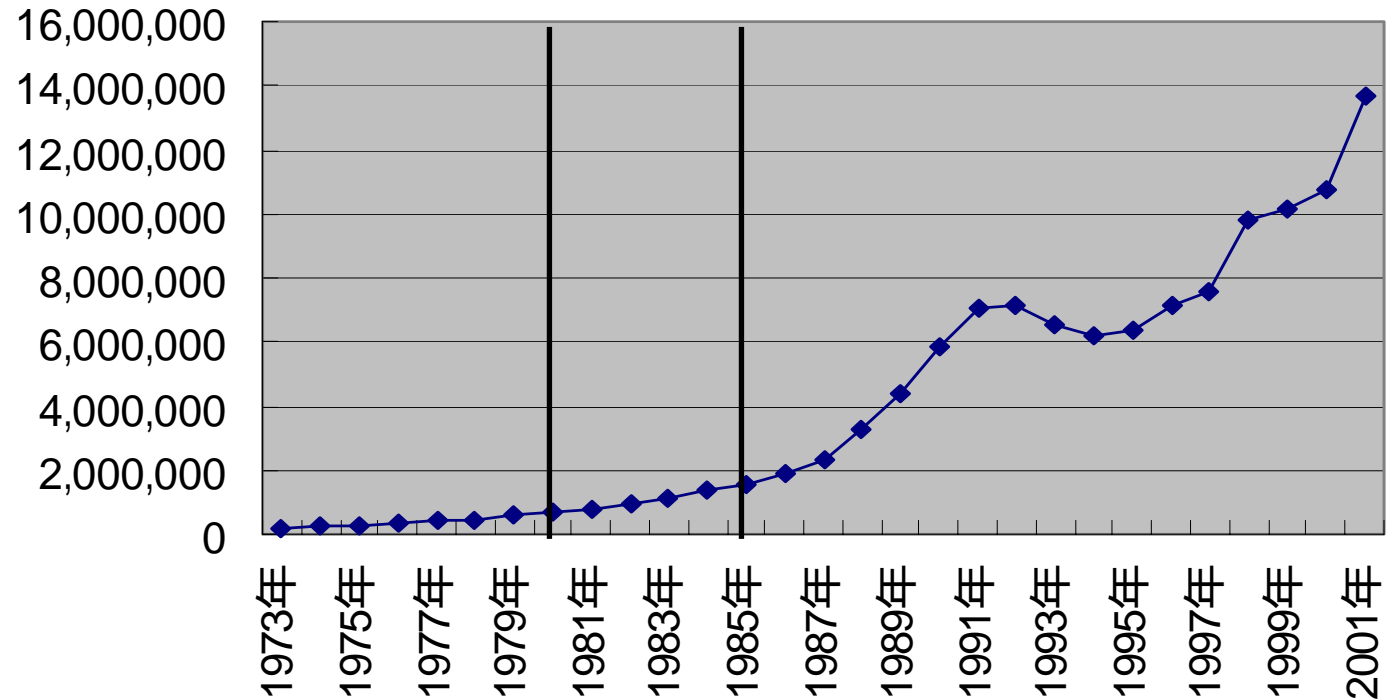
2-2.1980年代前半(汎用機アンバンドル時代)



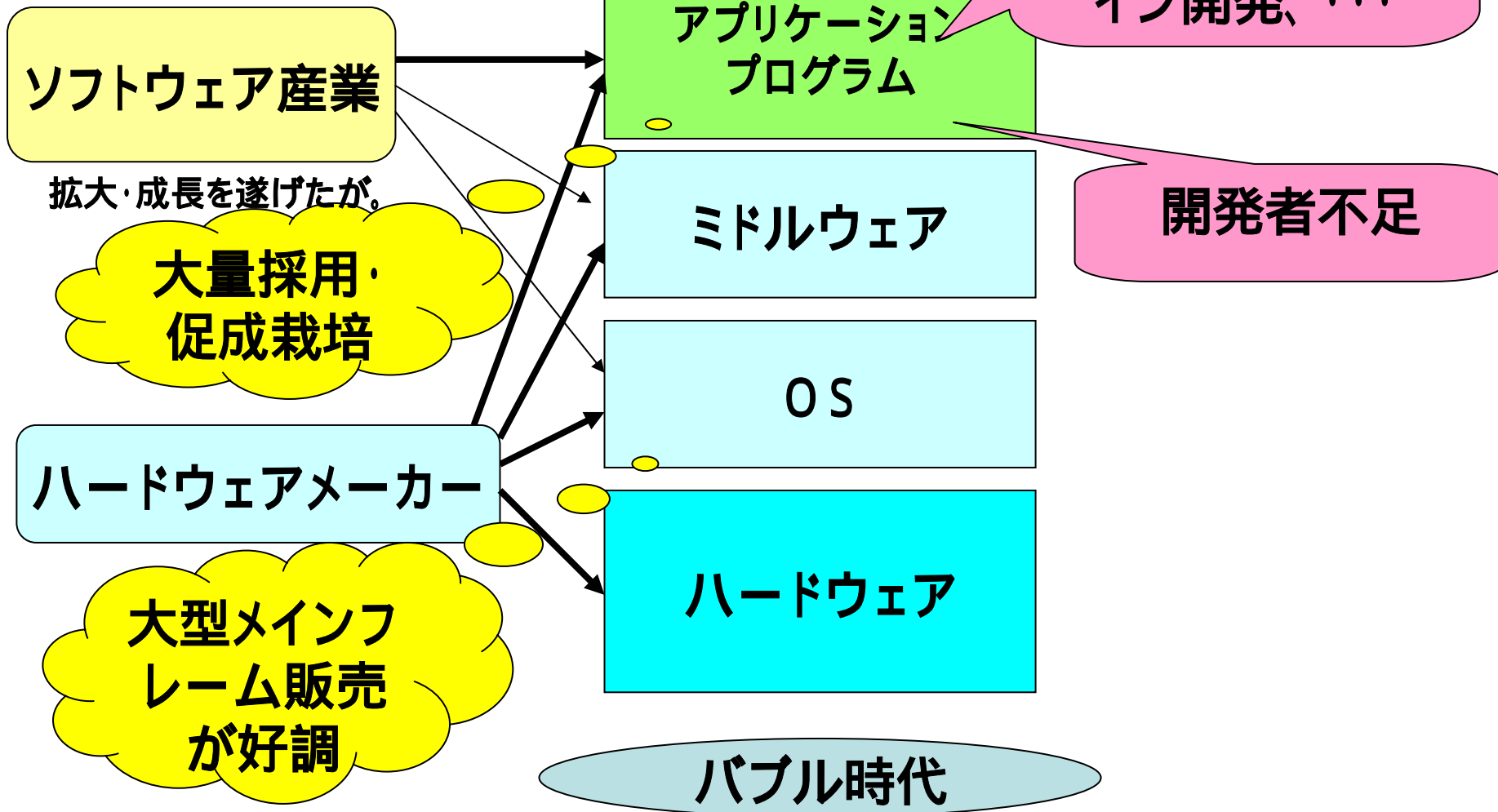
年間売上高
単位：百万円

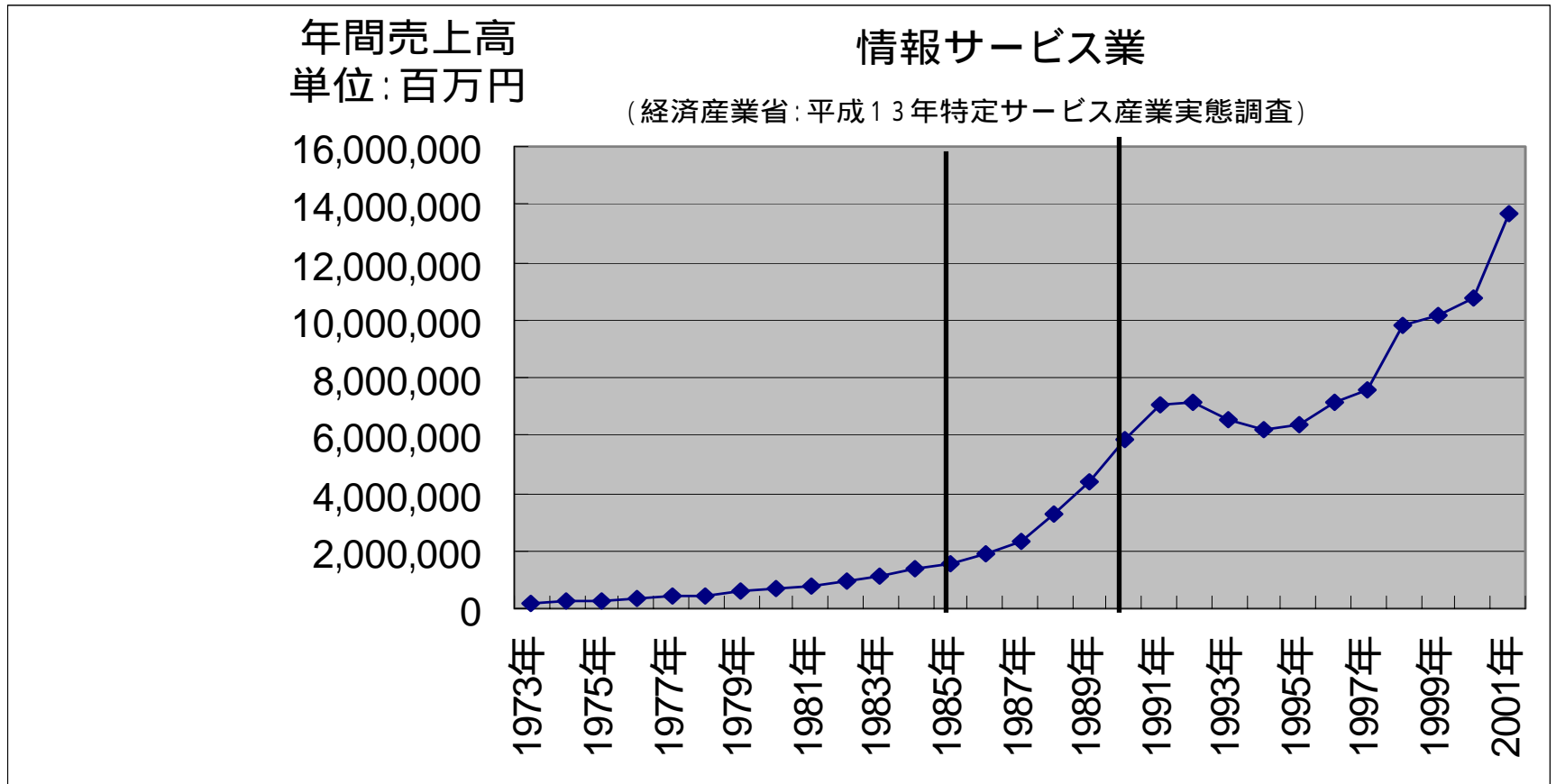
情報サービス業

(経済産業省：平成13年特定サービス産業実態調査)



2-3.1980年代後半





2-4.1990年代前半

ソフトウェア産業

淘汰の時代

リストラ

ハードウェアメーカー

リストラ

アプリケーション
プログラム

ミドルウェア

OS

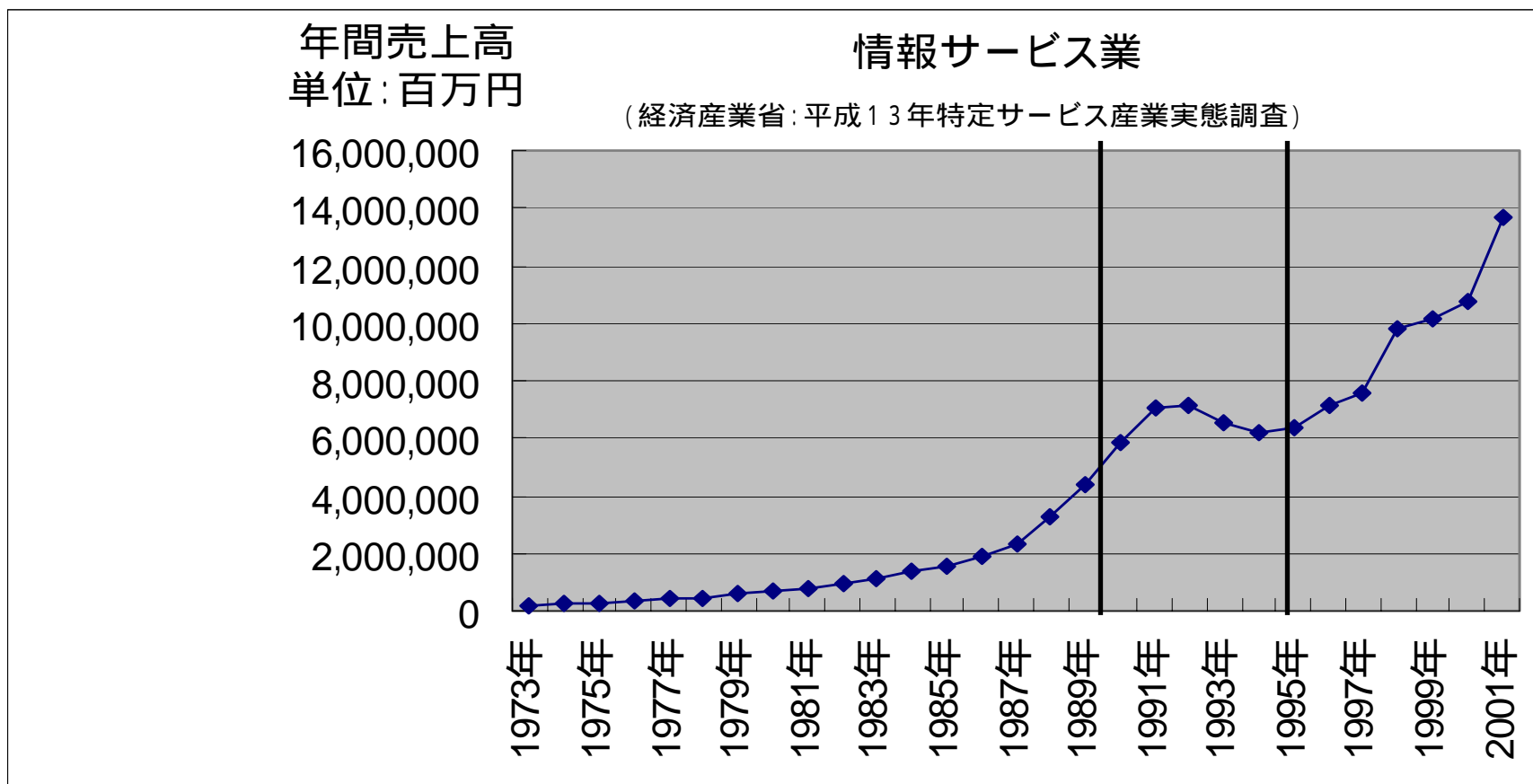
ハードウェア

バブル崩壊

大規模開発中止

オープンシステム
ダウンサイジング

ソフトが主役
の時代へ



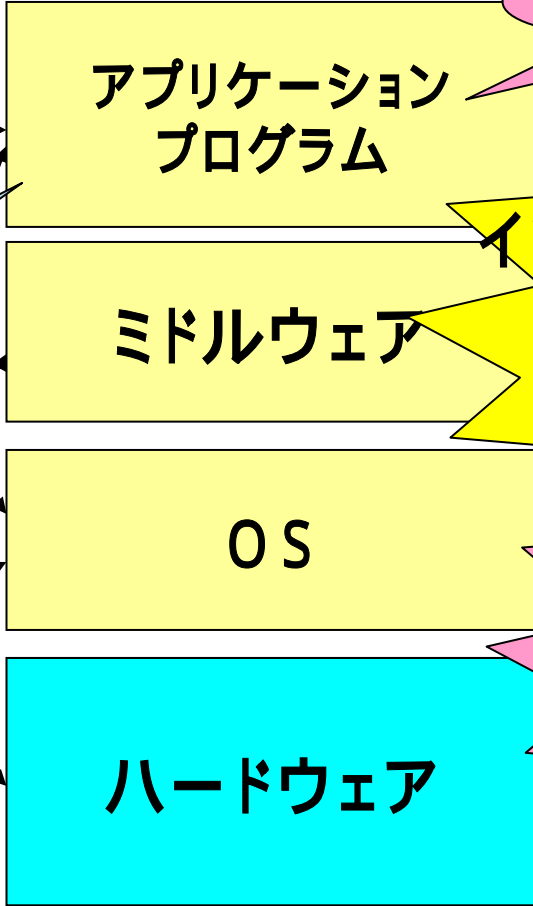
1-5.1990年代後半

ソフトウェア産業

新たな産業化

2000年問題

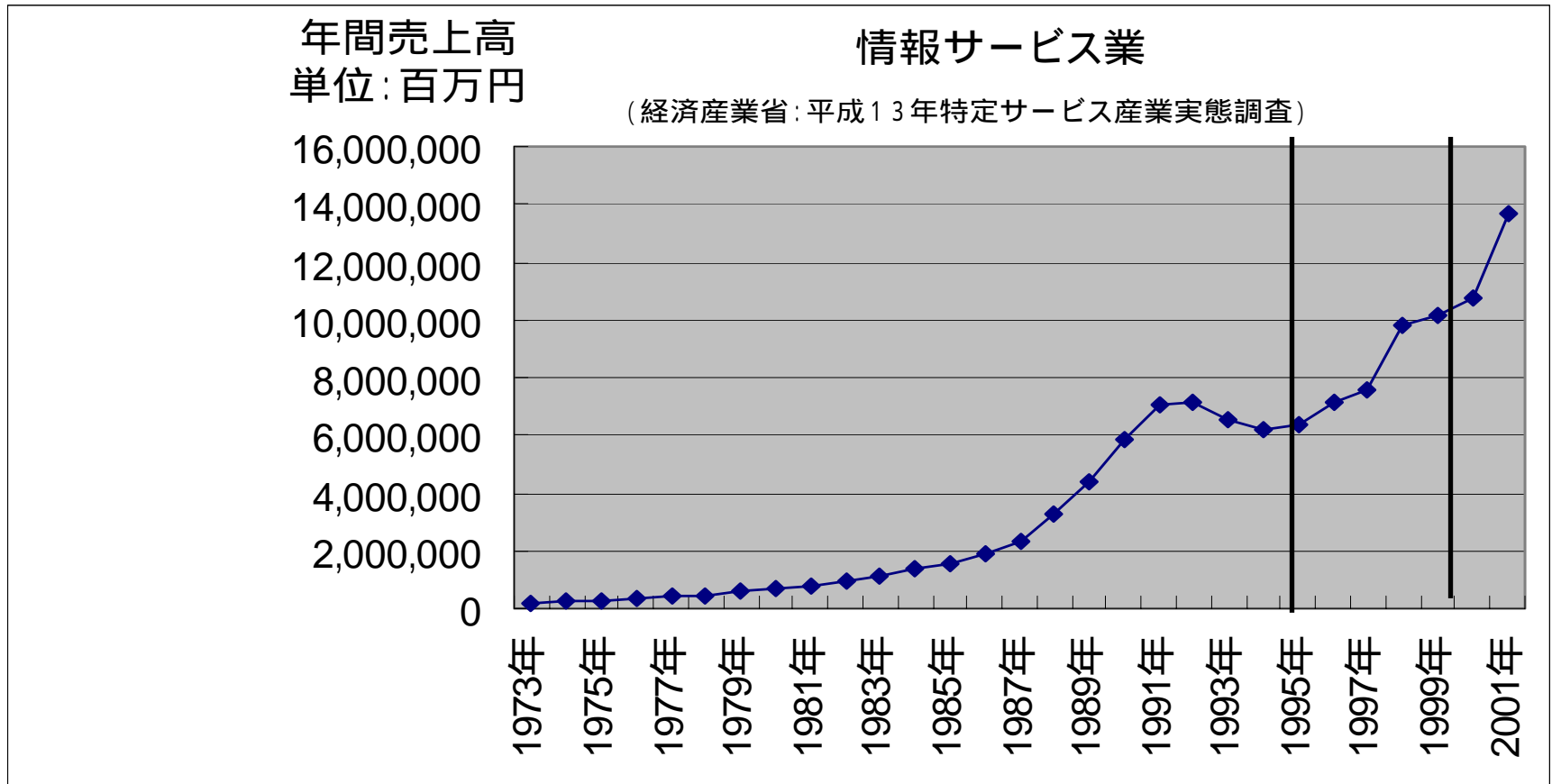
ハードウェアメーカー



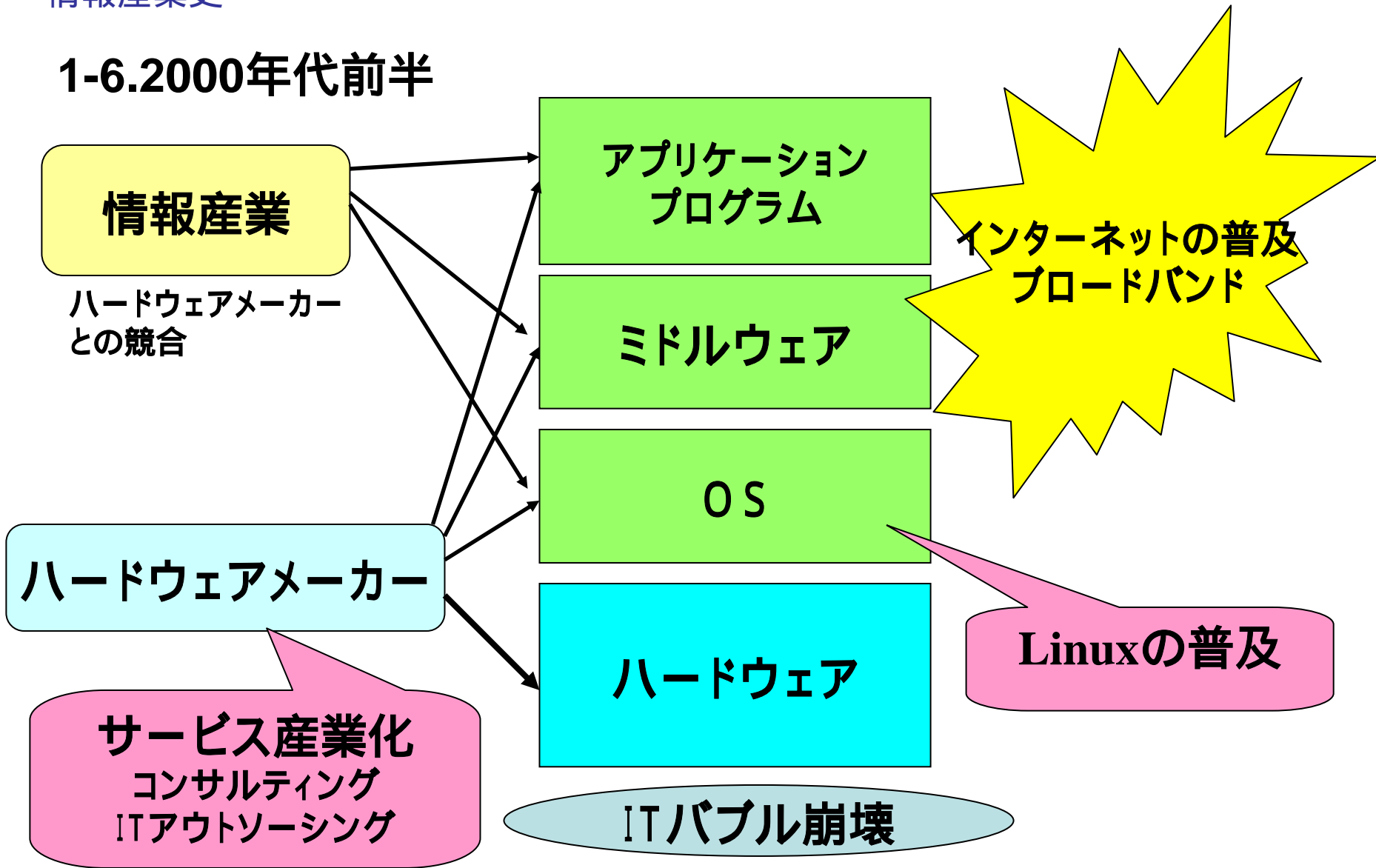
ERPパッケージの上陸

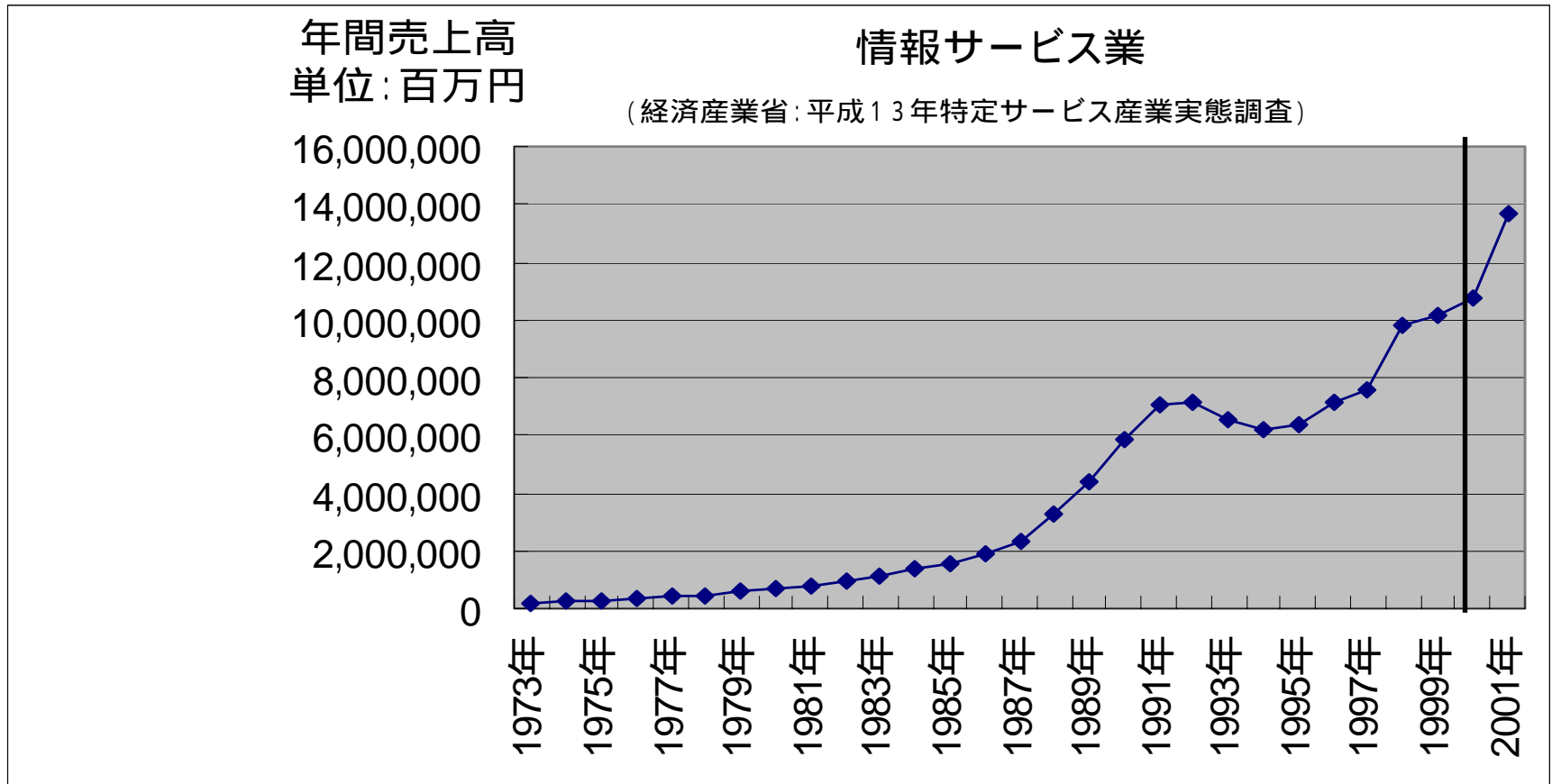
インターネットブーム
パソコンブーム

IT革命
eビジネス
eコマース



1-6.2000年代前半





3.主要企業の歴史

3-1.野村総合研究所

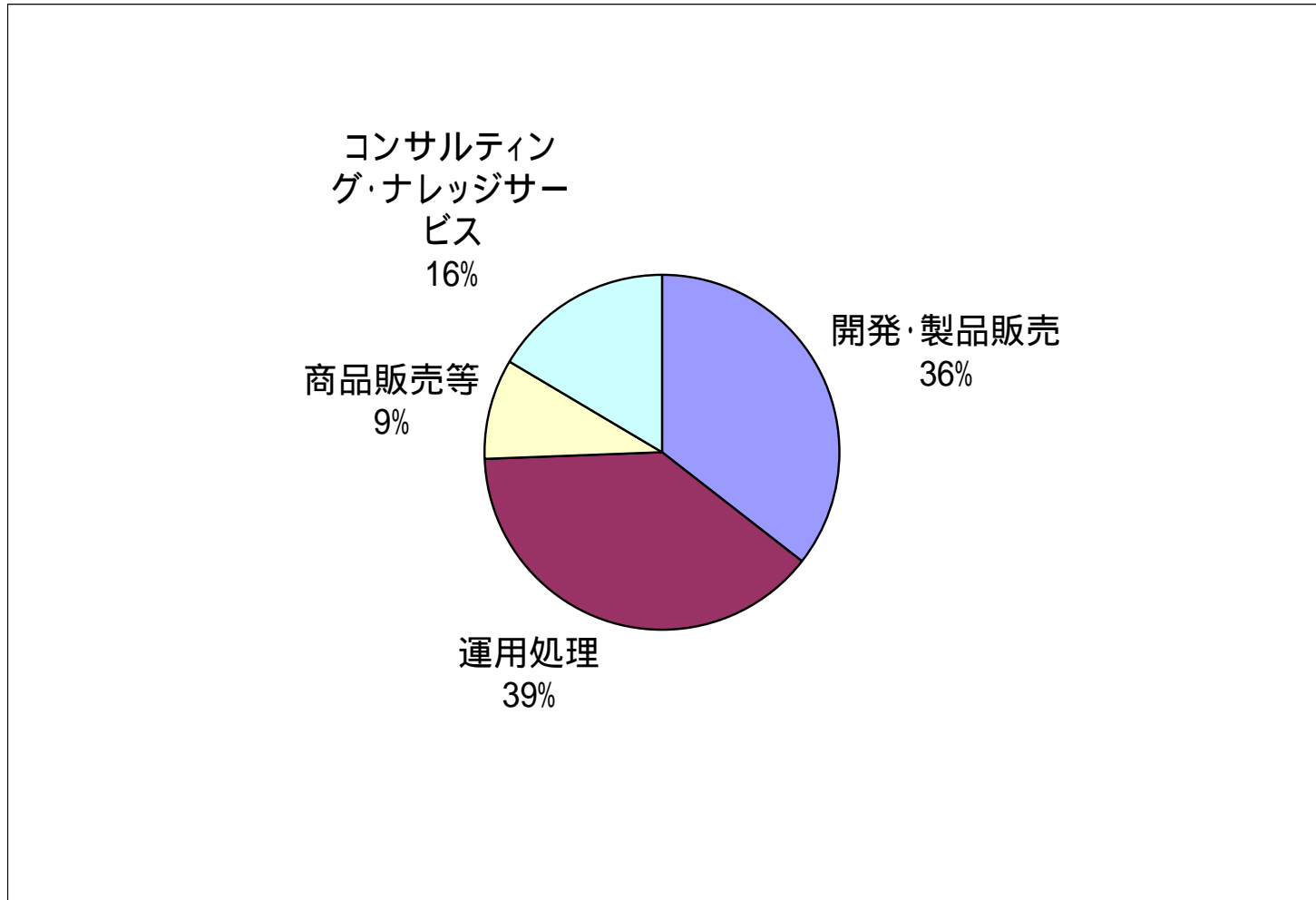
- ・ 野村証券の社内部門の分離独立した二つの会社。
- ・ 野村証券向けサービスが主体。

- ・ 1965年 野村証券調査部を母体として、民間シンクタンク「野村総合研究所（NRI）」設立。
- ・ 1966年 野村証券コンピュータ部門が分離・独立して、「野村電子計算センター（NCC）」を設立。
野村証券の総合オンラインを開発着手。

- ・ NCCはデータサービス（アウトソーシング）事業を外部から受託し始める。
- ・ 1974年 NCC：証券共同オンライン「STAR」を開発・稼動。
- ・ 1977年 NCC：給油所事務システムのオンラインサービス開始。
- ・ 1978年 NCC：セブンイレブンシステム開発・運用受託。

- NRI、NCCともにコンサルティングサービスに進出。**
- 1983年 NRI：経営コンサルティングサービス開始
 - 1984年 NCC：システムコンサルティングサービス開始。
-
- 1988年 NRIとNCCが合併。社名は「野村総合研究所」。
 - 1989年 年金マネジメント研究会組織。
 - 1990年 新社会システム研究センター設立。
-
- 1995年 インターネットショッピングモール「電活クラブ」スタート
 - 1996年 地震防災情報システム リリース。
-
- 2000年 ユビキタス・ネットワークを提唱。

平成13年度売上高構成（売上高：232,743百万円）



3-2.NTTデータ

日本電信電話公社の民営化に伴い、分離独立。

- 1985年 日本電信電話公社が民営化。日本電信電話株式会社設立。
- 1988年 NTTデータ通信設立。
異業種VAN営業開始。
信金共同センタ第3次システム提供。
- 1990年 バンクカード共同システム開始。
- 1992年 生保共同ATMネットワーク開始。
- 1994年 ERPパッケージ SCAW - V2販売開始。
- 1996年 マルチ言語、マルチ通貨対応業務パッケージ「A.S.I.A」発売。
- 1998年 社名をNTTデータに変更。
- 1999年 SAP R/3運用アウトソーシングセンター運用開始。

事業内容

システムインテグレーション事業：

データ通信システムを開発し、その販売、賃貸、サービスの提供。

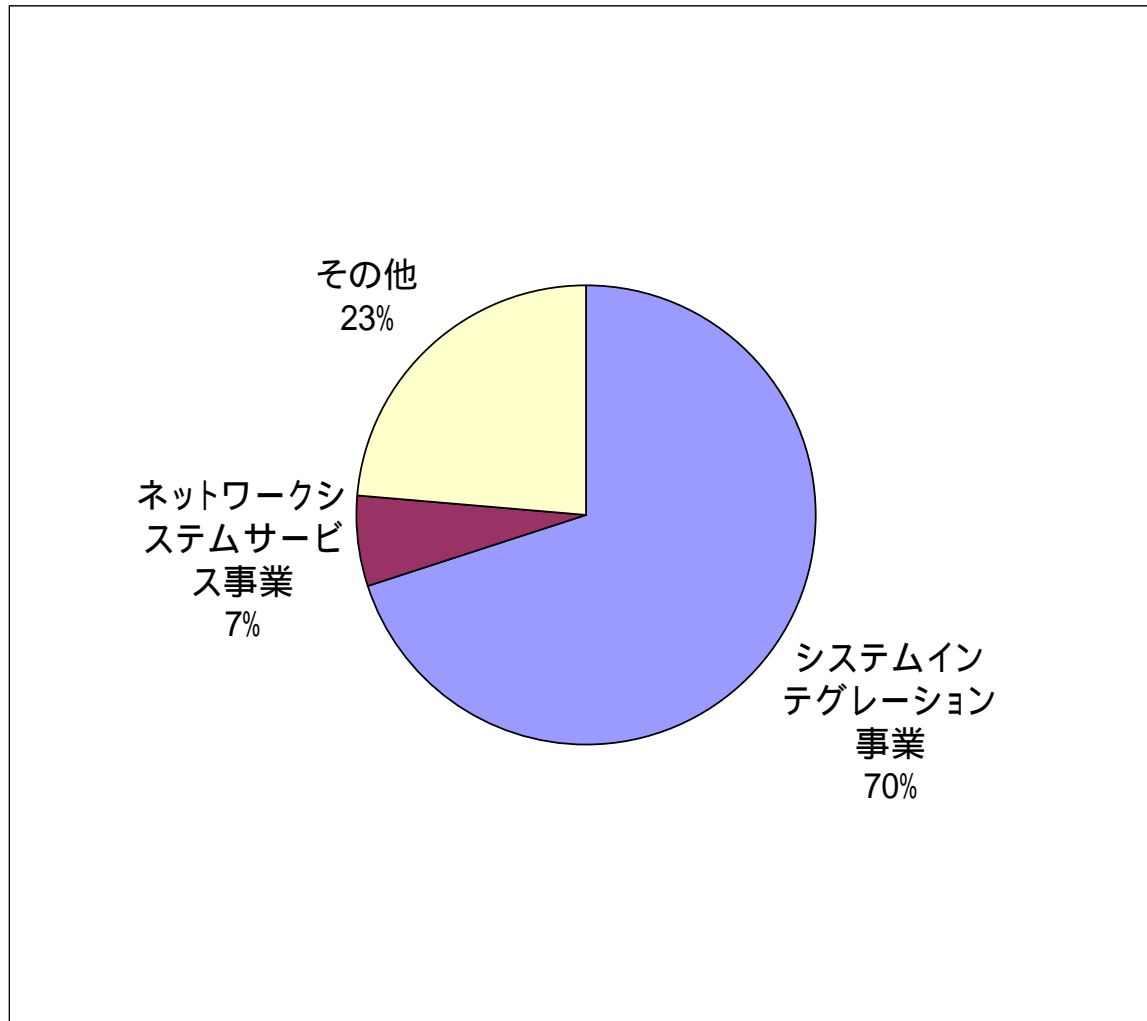
ネットワークシステムサービス事業：

コンピュータネットワークを基盤とした情報提供、情報処理サービスの提供。ANSER、CAFIS、ISP。

その他事業：

データ通信システムのあり方に係る企画・提案、メンテナンス、ファシリティマネジメント。

平成13年度売上高構成（売上高：801,966百万円）



3-3.CSK

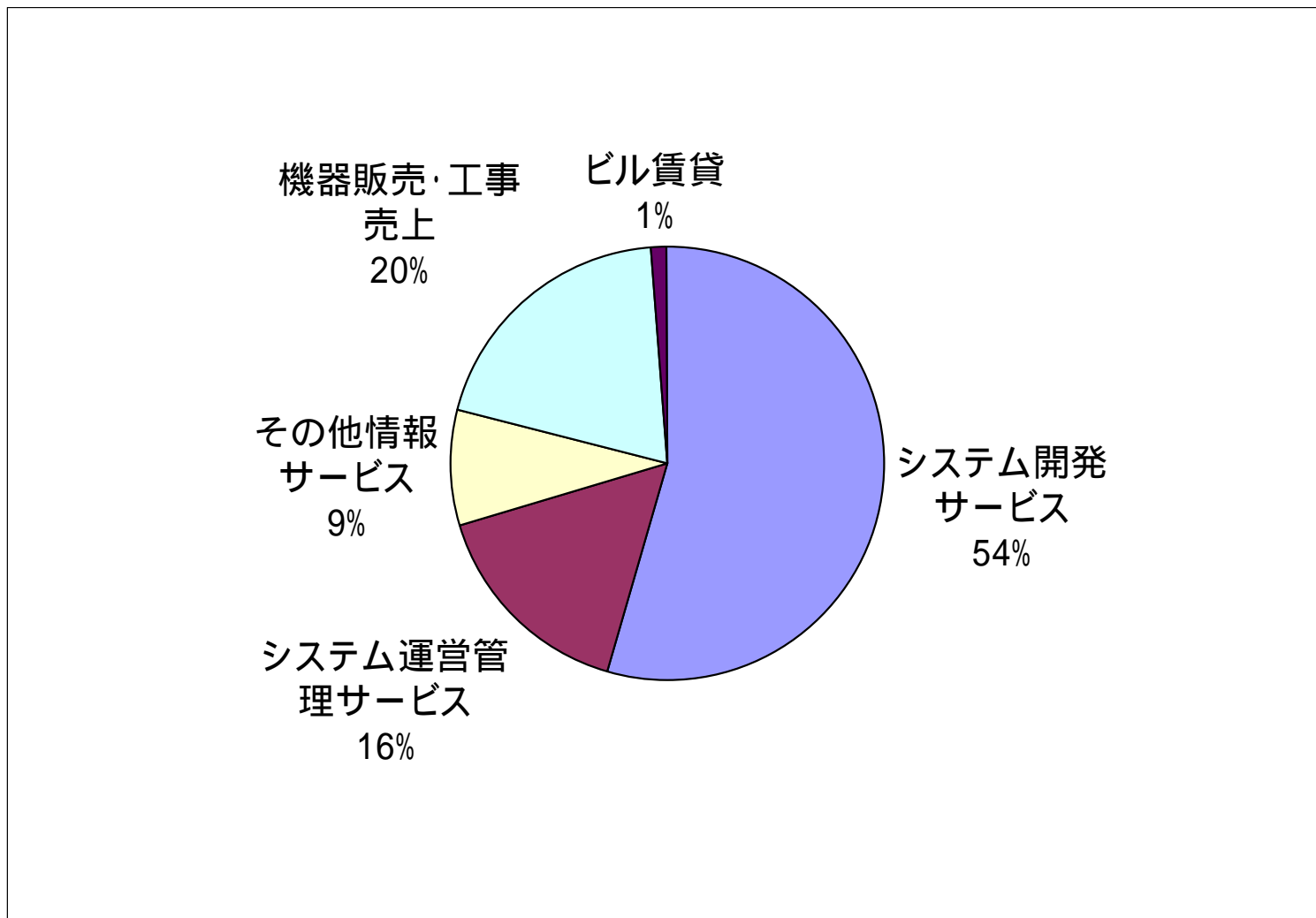
独立系ソフトウェアサービス会社。

運用要員派遣からスタート。受託開発、SIへ展開。

- 1968年 コンピュータサービス（現CSK）設立。
- 1980年 マイコン事業へ進出。
- 1984年 セガへ資本参加・経営参加。
CSKネットワークシステムズ設立。
- 1985年 IBMとの合併でJIEC設立。
- 1986年 ベルシステム24に資本参加。
- 1988年 システムインテグレーター登録。
- 1989年 IBMとの合併でCSI設立。

- 1994年 ネットワーク機器販売大手ネクストコムに資本参加。
- 1998年 日本フィッツ設立。

平成13年度売上高構成（売上高：127,633百万円）



3-4. ジャストシステム

日本語ワープロソフト「一太郎」を主力製品とするソフトウェアメーカー。
浮川夫妻が徳島に設立。

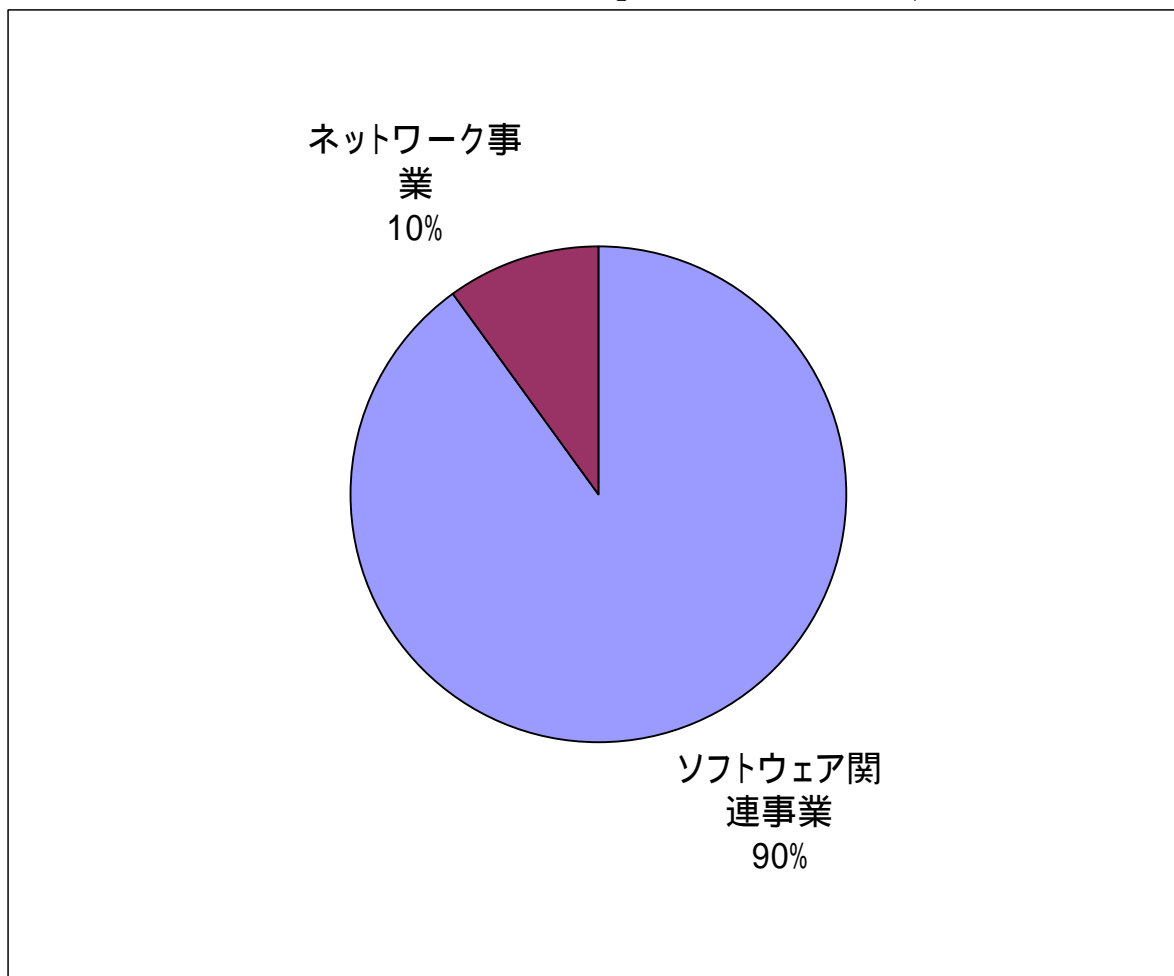
日本では数少ないソフトウェアプロダクトベンダーの大手。

- ・ 1979年 ジャストシステム設立。
- ・ 1982年 CP/M用日本語処理システムをデータショウで発表。
- ・ 1983年 NEC PC-100用ワープロソフト「JS-WORD」を開発。
- ・ 1984年 IBM JX用ワープロソフト「jX - WORD」を開発。

- ・ 1985年 NEC PC-9801用ワープロソフト「jX - WORD太郎」「一太郎」を発売。
- ・ 1987年 図形プロセッサ「花子」を発売。
- ・ 1990年 日本語変換システム「ATOK7」発売。

- ・ 1996年 「JustNet」オープン。2001年に売却。
- ・ 1997年 ConceptBase Searchを発売。

平成13年度売上高構成（売上高：15,642百万円）



情報産業史

引用・参考文献

- ・ 経済産業省 平成13年特定サービス産業実態調査
- ・ <http://www.nri.co.jp/>
- ・ <http://www.nttdata.co.jp/>
- ・ <http://www.csk.co.jp/>
- ・ <http://www.justsystem.co.jp/>
- ・ 富田倫生著、「パソコン創世記」,
<http://attic.neophilia.co.jp/aozora/htmlban/gopc.html>
- ・ 田原総一郎著、「パソコンウォーズ最前線」、講談社文庫、1992年3月15日
- ・ 関口和一著、「パソコン革命の旗手たち」、日本経済新聞社、2000年3月6日